

第 12 回技術研修会(現地研修会:桜井市)を開催

□2021 年 11 月 12 日(金) 13 時 30 分～16 時、奈良県および桜井市のご協力のもと、供用中の川合橋(かわいばし)を対象に、第 12 回技術研修会を開催しました。

□奈良県コンクリート診断士会側からは 20 名、奈良県道路メンテナンス会議からは 28 名(奈良国道事務所、奈良県、および 9 市 4 町 4 村)、奈良県森林資源生産課、農林振興事務所(中部・東部・南部)および 1 村からは 10 名の参加があり、第 1 部を川合橋での現地研修、第 2 部を桜井市役所 2 階大会議室での座学研修として、2 部構成で実施しました。

□また、新たな試みとして、ドローンを用いた点検を研修会に組み込み、現地研修ではドローンの撮影操作やデモ飛行、座学研修では撮影した画像について、合同会社 Kanden DOTs および日本コンピューターネット㈱から説明を受けました。

□川合橋は、2020 年度の近接目視点検の結果、判定区Ⅲ(早期措置段階)と判定されたものです。第 1 部では桜井市から点検結果について説明を受けた後、近接目視点検の着眼点、想定される変状原因、診断時の留意点、鉄筋腐食と発生部位等について研修や質疑応答を行いました。第 2 部では川合橋のような鉄筋腐食が生じた橋梁の維持修繕計画を策定するに当たっての留意点(設計時期を推定しての標準図集の活用、腐食した鉄筋が果たしている機能など)について、研修や意見交換を行いました。

□奈良県や関係市町のご協力を得て供用中の橋梁を対象に行う現地研修は、昨年度に引き続いて 5 回目の開催となりました。これは、奈良県コンクリート診断士会の設立目的である会員の技術力向上や地域貢献に大いに資するもので、以降も継続して開催できるように、連携を深めていく予定です。



▲ 川合橋での現地技術研修



▲ 座学研修(桜井市役所 2 階大会議室)



▲ ドローンによる点検状況①



▲ ドローンによる点検状況②